



横浜FCヨコハマぽるとカップ

この大会は、地域貢献活動の一環として、さまざまな障がいのある方が社会との繋がりを持つことや、サッカーやフットサルを通じた社会参加の促進と余暇の充実を図ること、障がい者スポーツの普及と交流の場を広げるとともに、生活の幅を広げ、ひいては生活のしづらさを解消していくことを目的とします。また、障がいのある方の社会参加により、同じ環境に生活する人々に勇気と元気を感じてもらえるきっかけを作ることを目指します。

活動場所 : 横浜FC・LEOCトレーニングセンター

取組テーマ : ダイバーシティ（共生社会）

協働者 : 行政

協働者名 : 一般社団法人横浜FCスポーツクラブ、ヨコハマぽるとカップ実行委員会、桐蔭横浜大学FC、Eggplant、日本ソーシャルフットボール協会

活動で工夫した点

2019年は、女性だけが参加できるエキシビジョンのフットサルを実施しました。参加者の中から有志を募り14名の方が参加をしてくれました。エキシビジョンの最初はフットサルボールで試合を行い、途中からボールをゴム製の特大ボールに変更し、参加した方が飽きないようにエキシビジョンを行いました。

活動で大変だった（苦労した）ポイント

子供の部を設定していたが、集まらなかったため、社内スタッフがサッカー教室を実施しました。

クラブや地域の活動後の変化

参加者となりますが、ゴールをしたときや仲間のいいプレーには身体全体で喜び、あと一歩が届かなかった仲間を励ますなど、自然体でチームワークを発揮している様子は清々しさを感じました。



協働者の声

大会後に振り返りのミーティングを開催。ヨコハマぽるとカップ実行委員会：女子エキシビジョンマッチでは40分時間を確保できたため好評・14名集めることができた・普段以上にボールが回ってきて楽しかった。

参加者の声

参加された方からは、「とても楽しかった！」「また参加したいです」と好意的なお声を数多く頂戴しました。

活動の「ここぞ！」というPRポイント

本大会では、精神障がい者だけではなく、様々な障がいをもたれている方に参加して頂いております。

補足

本大会に参加するチームが、神奈川県内外ともに参加チームが徐々に増えてきております。弊社としてはご協力いただける仲間を増やすことも視野に入れ、本活動を継続してまいります。